

お知らせ

令和5年(2023年)2月28日

第68回前島密賞奨励賞 受賞者決定について

本日15時に公益財団法人通信文化協会が、報道資料「第68回前島密賞 受賞者決定について」を、総務省記者クラブ及び日本郵政株式会社記者クラブに配布しております。

テレコムサービス協会関係業務では、佐々木 太志氏が前島密賞奨励賞受賞の栄誉に浴しました。テレコムサービス協会関係業務では「奨励賞」の受賞は初めてです。贈呈式は、4月6日(木)に行われます。

前島密賞奨励賞(個人): 佐々木 太志 氏

株式会社インターネットイニシアティブ MVNO 事業部 ビジネス開発部 担当部長
一般社団法人テレコムサービス協会 MVNO 委員会運営分科会 主査

[功績タイトル]

我が国における MVNO の普及とモバイル市場の競争活性化による低廉なサービスの環境整備に貢献

(前島密賞とは)

通信事業の創始者「前島密」の功績を記念し、その精神を伝承発展せしめるため昭和30年(1955年)に創設されたもので、以降毎年度、情報通信事業(郵政事業を含む)及び放送事業の進歩発展に著しい功績のあった方々に贈られます。

また、第66回より、新たに「奨励賞」が創設され、情報通信・放送分野において活躍し今後もなお一層の功績が期待される方々に贈られます。

【御参考】

公益財団法人通信文化協会の報道資料(抜粋)を次ページ以降に添付しました。

株式会社インターネットイニシアティブ 発表文:

<https://www.ij.ad.jp/news/pressrelease/2023/0228.html>

(担当) 一般社団法人テレコムサービス協会事務局 正村
電話 03-5644-7500

報道資料

第68回前島密賞 受賞者決定について

公益財団法人通信文化協会では、第68回（令和4年度）の前島密賞の受賞者を別紙のとおり決定しました。贈呈式は、4月6日（木）に行います。

記

1 前島密賞の趣旨等

前島密賞は、逓信事業の創始者「前島密」の功績を記念し、その精神を伝承発展せしめるため昭和30年（1955年）に設けられたもので、以降毎年度、情報通信事業（郵政事業を含む）及び放送事業の進歩発展に著しい功績のあった者に贈呈しています。

また、第66回より、新たに「奨励賞」を創設し、情報通信・放送分野において活躍し今後もなお一層の功績が期待される者に贈呈しています。

情報通信・放送は、日常生活に欠かせない重要なインフラであり、コミュニケーションツールです。通信の役割が益々重要になってきており、大量の情報が取り扱われています。一方、通信障害やセキュリティも大きな問題となっているところです。

このような状況の中、今回は、通信サービスの提供の維持や大量のデータを高速に、また、安心して使えることのできる高度な情報通信社会の実現に寄与するものなど、時代の要請にかなった功績が多くあります。

通信文化協会は、引き続き通信・放送文化の発展のために取り組んでまいります。

2 受賞者の概要

(1) 前島密賞

14件 24名・1団体

- ① 情報通信・放送分野において、長年に亘り多大な功績のあった者、先駆的な研究開発を行った者など。
- ② 通信・放送の提供や維持に貢献があった者、地域のインフラとして地域貢献に資する功績があった者など。

なお、副賞として、元日展理事、日本芸術院賞・恩賜賞受賞 高橋剛氏作のメダル（ただし、共同研究・共同行為・団体による受賞者は金一封）を贈呈します。

(2) 奨励賞

4件 4名

- ① 若手経営者として活躍している者、現場の第一線で活躍している者。
- ② 先駆的な研究開発を行った者。

なお、副賞として、前島密賞のメダルの意匠を入れた楯を贈呈します。

3 選考要領

毎年、当該年度の実施要領に示す推薦機関から受賞候補者の推薦を受け、選考委員会の議を経て理事会で決定します。

4 贈呈式

- (1) 日時
令和5年4月6日(木) 午前11時00分
- (2) 場所
KKRホテル東京
(千代田区大手町1-4-1)

5 協会の定款及び前島密賞規程

- 公益財団法人通信文化協会 定款 第3条
本法人は、郵政博物館の運営、前島密賞の贈呈、通信文化の普及・発展等に関する事業を行い、もって我が国の手紙等文字コミュニケーション文化と情報通信・放送文化の向上に寄与することを目的とする。
- 前島密賞規程(抄)
第2条 前条の賞は、前島密賞及び奨励賞とし、それぞれ次の各項に該当する者に贈る。
 - 2 前島密賞
情報通信・放送に関わる次の各号ごとに、特段の功績があったと認められる者。
 - (1) 情報通信ネットワークの提供及びユニバーサルサービスの維持のために顕著な功績があった者
 - (2) ICT(情報通信テクノロジー)に係わるイノベーションを発案し、ネットワーク社会の進歩発展に顕著な功績があった者
 - (3) ネットワーク社会の進歩発展又はコミュニケーション文化の振興・発展に関し、顕著な功績があった者
 - 3 奨励賞
情報通信・放送分野において、現に活躍するとともに実績を上げており、今後もなお一層の功績が期待される者。

[連絡先]	公益財団法人通信文化協会 前島密賞事務局 松原 〒113-8139 東京都文京区湯島 4-5-16 TEL : 03-5809-7148
-------	--

第68回(令和4年度) 前島密賞 受賞者 功績

《 奨励賞 》

(敬称略)

所属・職歴は、推薦時

3 一般社団法人テレコムサービス協会推薦

[個人]

佐々木 太志	(株)インターネットイニシアティブ MVNO 事業部 ビジネス開発部 担当部長 (一社) テレコムサービス協会 MVNO 委員会運営分科会 主査
<p>【我が国における MVNO の普及とモバイル市場の競争活性化による低廉なサービスの環境整備に貢献】</p> <p>スマホ料金の低廉化競争の活性化と先進的なサービス提供の実現による利用者利便の向上に貢献している。Society 5.0 の実現に向けて 2030 年代までに取り組むべき政策課題である接続料や卸料金の適正性の確保、利用者本位の移動通信業界を目指すなどの取り組みを推進している。</p> <p>今後も、MVNO の高度なサービスの実現と、それによるモバイル市場の活性化への更なる貢献が期待される。</p>	

(株)インターネットイニシアティブに入社以降、我が国の MVNO (Mobile Virtual Network Operator) 黎明期よりサービスの企画、開発や移動体通信事業者との交渉を担当し、MVNO による革新的なサービスを実現した。

2013 年からは、モバイル市場における競争を促進し、サービスの多様化、料金の低廉化を促すことを目的として設置されたテレコムサービス協会 MVNO 委員会にて活動し、2014 年の「MVNO の事業環境の整備に関する政策提言」の取りまとめに貢献した。2017 年より同委員会運営分科会の主査として、2018 年の「新政策提言」及び 2022 年の「政策提言 2022」における、5G 時代の仮想通信事業者のコンセプト「VMNO 構想」を提唱するなどの取りまとめを主導し、Society 5.0 の実現に向けて 2030 年代までに取り組むべき政策課題である接続料や卸料金の適正性の確保、利用者本位の移動通信業界を目指すなどの取り組みを推進している。

MVNO 業界を代表し、接続料の算定等に関する研究会や情報通信審議会 IP ネットワーク設備委員会技術検討作業班等の総務省関係会合に構成員又はオブザーバとして参加し、我が国における MVNO の普及とモバイル市場の競争活性化による低廉なサービスの環境整備に貢献している。

海外においても、2018 年より、国際電気通信連合 電気通信標準化部門 第 3 研究委員会に参加し、MVNO に関する国際的な認知、理解の向上に尽力した。

これらの精力的な活動を通じて、携帯電話事業分野の競争の活性化と、MVNO による先進的なサービス提供を実現し、利用者利便の向上に大きく寄与している。

グローバルな視点での情報発信を続けるとともに、MVNO によるモバイル市場の活性化と、多くの利用者が安心・安全に使える革新的なサービスの実現に取り組むこととしており、今後も、MVNO の高度なサービスの実現と、それによるモバイル市場の活性化への更なる貢献が期待される。